

6日 月曜

テモテⅡ

3:1 終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。

3:2 そのときに人々は、自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神をけがす者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者になり、

3:3 情け知らずの者、和解しない者、そしめる者、節制のない者、粗暴な者、善を好まない者になり、

3:4 裏切る者、向こう見ずな者、慢心する者、神よりも快樂を愛する者になり、

3:5 見えるところは敬虔であっても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。

3:6 こういう人々の中には、家々にはいり込み、愚かな女たちをたぶらかしている者がいます。その女たちは、さまざまの情欲に引き回されて罪に罪を重ね、

3:7 いつも学んではいるが、いつになっても真理を知ることのできない者たちです。

3:8 また、こういう人々は、ちょうどヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、真理に逆らうのです。彼らは知性の腐った、信仰の失格者です。

3:9 でも、彼らはもうこれ以上に進むことはできません。彼らの愚かさは、あのふたりのばあいのように、すべての人にははっきりわかるからです。

パウロはテモテに、教会の人々への指導について具体的に書きましたが、それら地上の歩み方をよきものにするには、「終りの日」についての正しい知識が必要です。主の最終的なさばきのときには、善と悪、また信仰と反逆が明確になります。それに



よって主の正しさが鮮明になるのです。

ここにあるような言動をする人々が現れるということですから、それを見聞きしてもうろたえることは要りません。もしかしたら教会にそのような人が入り込んでくるかも知れません。教会がキリストの体であることを知って、キリストのために守ろうとする人は、「真理に逆らう」人から教会を守る必要も感じるでしょう。

聖書のみことばを日頃から学び、従い、また教会と主イエスを愛して、必要な時に必要な決断ができるような、信仰の勇者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

